中学２年　国語科　教材別テスト①　「見えないだけ」

教材別リメイク版　中学２年　国語

２年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．４）までです。
- 大問四は、**教科書『国語２』（光村図書）の「見えないだけ」を開いて**解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。　１点×20＝20点

① 雄大な山脈。
② 明るい雰囲気。
③ 木の陰に隠れる。
④ 確かな手ごたえ。
⑤ 勇気が湧く。
⑥ 春の兆し。
⑦ 鳥が翼を広げる。
⑧ 海の彼方を見る。
⑨ 庭の垣根。
⑩ 雨上がりの虹。
⑪ 将来にきぼうをもつ。
⑫ 友人をしんらいする。
⑬ うちゅうの広がり。
⑭ きせつがめぐる。
⑮ ちへいせんをながめる。
⑯ あたたかい日ざし。
⑰ 星がかがやく。
⑱ あざやかな色。
⑲ 日がしずむ。
⑳ やわらかい風。

二　次の問いに答えなさい。(語句の知識)

2点×7＝14点

(1)「現実」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(2)「未来」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(3) 慣用句「胸をふくらませる」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　息を大きく吸いこむこと。　　イ　これから先への期待で、心をいっぱいにすること。

ウ　いばった態度をとること。　　エ　不安で落ち着かなくなること。

(4) 慣用句「息をのむ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　おどろきや感動のあまり、一瞬息を止めること。　　イ　つかれて息が切れること。

ウ　言いたいことをがまんすること。　　エ　静かに水を飲むこと。

(5)「彼方」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　遠くはなれた向こうのほう。　　イ　すぐ目の前のところ。

ウ　過ぎ去ってしまった昔。　　エ　決められた一つの方向。

(6)「兆し」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　物事が起こりそうな様子。前ぶれ。　　イ　物事が終わりに近づくこと。

ウ　非常に大きな数のこと。　　エ　決まりきった形のこと。

(7)「道路」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　高低　　イ　永久　　ウ　読書　　エ　国立

三　次の説明にあてはまる、**詩の表現技法や詩についての用語**を答えなさい。

2点×8＝16点

(1)「雪のような花」のように、「ようだ」「ような」「みたいだ」などの言葉を使って、あるものを別のものにたとえる技法。**漢字二字**で答えなさい。

(2)「人生は旅だ」のように、「ようだ」などの言葉を使わずに、直接たとえる技法。**漢字二字**で答えなさい。

(3)「風がささやく」のように、人でないものを人のように表す技法。

(4) 同じ言葉や同じ言い方をくり返して、調子を整えたり意味を強めたりする技法。

(5)「美しいなあ、この空は。」のように、ふつうの語順を入れかえて印象を強める技法。

(6)「静かな夜の海。」のように、行や文の終わりを名詞で止める技法。

(7) 詩の中で、内容のまとまりごとに一行空けて区切られた、ひとまとまりの部分。

(8) 音数や行数の決まりにしばられず、現代の話し言葉で書かれた詩。**漢字五字**で答えなさい。

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語２』（光村図書）の「見えないだけ」（牟礼慶子）を開いて、後の問いに答えなさい。　50点

（１）詩の最初の部分では、対になる二つの場所が並べて書かれている。その組み合わせとしてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［３点］

ア　空と海　　イ　山と川　　ウ　町と村　　エ　朝と夜

（２）（１）のように、似た組み立ての行を並べて対応させ、リズムを生み出す表現技法を、**漢字二字**で答えなさい。［３点］

（３）この詩の中でくり返し使われている語を、次から一つ選び、記号で答えなさい。［３点］

ア　もっと　　イ　きっと　　ウ　ずっと　　エ　やっと

（４）（３）の語がくり返されることによって、この詩は読者にどのような印象をあたえているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［４点］

ア　同じことばかりが続き、退屈だという印象。

イ　目に見える世界のさらに先へと、世界が限りなく広がっていく印象。

ウ　遠くへ行かなければ幸せになれないという、あせりの印象。

エ　今いる場所から逃げ出したいという、さびしさの印象。

（５）この詩では、海や風、世界などの様子が、人の動作を表す言葉（「眠る」「待つ」など）で書かれている。このような表現技法を答えなさい。［３点］

（６）（５）の技法が使われていることによって、この詩に書かれた、まだ見えない世界はどのように感じられるか。「～という感じ。」の形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［６点］

（７）詩の終わりの部分にある「あんなに確かに」という言い方には、話し手のどのような思いが表れているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［４点］

ア　今は見えない世界を、少しも疑っていない思い。

イ　見えないものは、やはり存在しないのだろうという疑いの思い。

ウ　遠くにあるものなど、自分には関係がないという思い。

エ　目に見えるものだけを信じていこうとする思い。

四　（つづき）

（8）題名「見えないだけ」の「だけ」には、どのような意味がこめられているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　見えないものは、はじめから存在しないという意味。

イ　目に映っていないのは今のあいだだけで、なくなったわけではないという意味。

ウ　どんなに努力しても、一生見えることはないという意味。

エ　見えないほうが、かえって幸せだという意味。

（9）この詩で、話し手のものを見る視点はどのように動いていくか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　遠くはなれた場所から、自分の手もとへとせまってくる。

イ　身近な場所から出発して、遠い場所、そして先の時間へと移っていく。

ウ　現在から昔へと、少しずつさかのぼっていく。

エ　同じ一つの場所にとどまり続け、まったく動かない。

（10）この詩の**主題**を、**二十五字以上四十字以内**で書きなさい。［7点］

（11）この詩を音読するとき、あなたはどのような読み方を工夫するか。**工夫とその理由**を合わせて、**四十字以上六十字以内**で書きなさい。［5点］

（12）次のア～オの文のうち、人でないものを人のように表している文を**全て**選び、記号で答えなさい。【完答】［5点］

ア　星がまばたきをしながら笑っている。

イ　雪のように白いほおをした少女。

ウ　空が悲しそうに泣いている。

エ　時は金なり。

オ　鳥が高い空を飛んでいく。

解答用紙①　知識・技能

中学２年　国語科　教材別テスト①「見えないだけ」

２年　　組　　番　　氏名

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　語句の知識 （２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　詩の表現技法 の用語 （２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

解答用紙②　思考・判断・表現

中学２年　国語科　教材別テスト①「見えないだけ」

２年　　組　　番　　氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「見えないだけ」の読解（50点）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)			
	(6)			
	(7)		(8)	
	(9)			
	(10)			
	(11)			
	(12)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。字数は（６）25～35字、（10）25～40字、（11）40～60字です。（12）は完答で正解となります。